

第32回ふじみ福祉フォーラム21

令和6年1月28日(日) キラリ☆ふじみ マルチホール

●今回のフォーラムについて

今回のフォーラムのテーマは「富士見市のインクルーシブ教育」です。

日本のインクルーシブ教育は、「多様な学びの場」を用意する特別支援教育を中心に進められています。一方、昨年9月に障害者権利条約にもとづく国連の審査があり、分離された特別支援教育に懸念を示し、日本政府に対して、障がいのある・なしにかかわらずともに学ぶインクルーシブ教育に関する行動計画を作るよう求めました。インクルーシブ教育の進め方についての考え方が違うようです。分かりにくいので、インクルーシブ教育を推進する教育委員会の教育相談室長と現場で実践する校長先生に、富士見市のインクルーシブ教育の現在とこれからについてお話を伺うフォーラムを開催することにしました。

●テレビ版「みんなの学校」について

インクルーシブ教育の一つの例として、関西テレビが2013年に製作したドキュメンタリー映像をご覧ください。大阪市立大空小学校の2012年度の一年を追った作品で、平成25年度文化庁芸術祭テレビドキュメンタリー部門の大賞を受賞しています。後に映画化もされました。

この学校の児童数は約220人で、そのうち特別支援の対象となる児童は30人を超えています。通常より教員が多く配置されていますが、障がいのある・なしにかかわらず、すべての子どもたちが同じ教室で学びます。学校の理念は「すべての子どもの学習権を保障する学校をつくる」であり、校則はありませんが、「自分がされていやなことは人にしない 言わない」という「たったひとつの約束」があります。子どもたちはこの約束を破ると“やり直す”ために、やり直しの部屋(校長室)へとやってきます。

「すべての子どもに居場所がある学校を作りたい」という校長先生のもと、児童と教職員だけでなく、保護者や地域の人もいっしょになって、誰もが通い続けることができる学校を作りあげてきました。お互いの違いを理解し、お互いを尊重しあえるような子どもを育てる学校のドキュメントです。

●当日の時間割(次第)

	(予定時刻)	科目(プログラム)
	9:15	開場
1時間目	9:45	開会式(代表挨拶/ご来賓挨拶・紹介)
2時間目	10:15	テレビ版「みんなの学校」視聴
	11:00	休憩 - 感想提出をお願いします
3時間目	11:10	講演 関崎純也氏・本木千穂氏
4時間目	12:00	質疑応答 感想・意見交換
	12:30	閉会
課外活動	~13:30頃	模擬店でのお買物

●ふじみ福祉フォーラム21について

富士見市の福祉を市民の立場で考えるフォーラムを平成4年から開催しています。テーマの選定や企画・運営をお手伝いしてくれるメンバーを募集しています。

福祉政策課までご連絡ください。(Tel:049-252-7102)

●模擬店のご紹介

市内のボランティア団体や福祉事業所に模擬店を出店していただいています

ゆいの里

調理/パン・ラスク/シフォンケーキ

むさしの作業所

花の販売

まいまい

衣類・雑貨等のフリーマーケット・他

富士見特別支援学校

高等部作業班による製品販売

シルバーボランティア

藤の実会

手作り手芸小物

ふじの木作業所

クッキー
手作りはがき
レターセット

多機能型事業所

え〜る

手作り小物